資金収支計算書

令和　3 年　4 月　1 日 から
令和　4 年　3 月 31 日 まで

（単位：円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	(1,270,000,000)	(1,298,685,000)	(△ 28,685,000)
手数料収入	(22,330,000)	(23,191,500)	(△ 861,500)
寄付金収入	(2,500,000)	(1,700,000)	(800,000)
補助金収入	(80,000,000)	(108,438,500)	(△ 28,438,500)
国庫補助金収入	30,000,000	36,639,400	△ 6,639,400
地方公共団体補助金収入	50,000,000	71,799,100	△ 21,799,100
資産売却収入	(2,240,000,000)	(2,240,000,000)	(0)
付随事業・収益事業収入	(300,000)	(21,712,445)	(△ 21,412,445)
受取利息・配当金収入	(50,000,000)	(85,134,813)	(△ 35,134,813)
雑収入	(1,700,000)	(13,825,491)	(△ 12,125,491)
借入金等収入	(0)	(0)	(0)
前受金収入	(340,000,000)	(317,370,000)	(22,630,000)
その他の収入	(240,923,448)	(297,968,818)	(△ 57,045,370)
資金収入調整勘定	(△ 374,180,000)	(△ 382,845,669)	(8,665,669)
前年度繰越支払資金	2,542,038,943	2,542,038,943	
収入の部合計	6,415,612,391	6,567,219,841	△ 151,607,450

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	(764,000,000)	(710,405,374)	(53,594,626)
教育研究経費支出	(257,500,000)	(241,930,075)	(15,569,925)
管理経費支出	(152,690,000)	(123,806,991)	(28,883,009)
借入金等利息支出	(6,500,000)	(5,540,416)	(959,584)
借入金等返済支出	(65,004,000)	(65,004,000)	(0)
施設関係支出	(5,000,000)	(0)	(5,000,000)
設備関係支出	(31,000,000)	(29,752,943)	(1,247,057)
資産運用支出	(240,000,000)	(238,479,239)	(1,520,761)
その他の支出	(286,944,074)	(339,325,335)	(△ 52,381,261)
〔予備費〕	(0)		
	20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 82,421,003	△ 82,008,182	△ 412,821
翌年度繰越支払資金	4,669,395,320	4,894,983,650	△ 225,588,330
支出の部合計	6,415,612,391	6,567,219,841	△ 151,607,450

活動区分資金収支計算書

令和　3 年　4 月　1 日 から
令和　4 年　3 月 31 日 まで

（単位：円）

		科　　目	金　　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,298,685,000
		手数料収入	23,191,500
		特別寄付金収入	1,700,000
		経常費等補助金収入	108,438,500
		付随事業収入	901,950
		雑収入	11,431,293
		教育活動資金収入計	1,444,348,243
	支出	人件費支出	710,405,374
		教育研究経費支出	241,930,075
		管理経費支出	123,806,991
		教育活動資金支出計	1,076,142,440
		差引	368,205,803
		調整勘定等	7,505,021
		教育活動資金収支差額	375,710,824
施設整備等活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	施設整備等活動資金収入計	0
	支出	設備関係支出	29,752,943
		施設整備等活動資金支出計	29,752,943
		差引	△ 29,752,943
		調整勘定等	△ 20,809,418
		施設整備等活動資金収支差額	△ 50,562,361
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			325,148,463
その他の活動による資金		科　　目	金　　額
	収入	貸付金回収収入等	2,527,045,366
		受取利息・配当金収入	85,134,813
		収益事業収入	20,810,495
		過年度修正収入	2,394,198
		その他の活動資金収入計	2,635,384,872
	支出	借入金等返済支出等	586,565,216
		借入金等利息支出	5,540,416
		その他の活動資金支出計	592,105,632
		差引	2,043,279,240
		調整勘定等	1,810,613
その他の活動資金収支差額			2,045,089,853
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			2,370,238,316
前年度繰越支払資金			2,542,038,943
翌年度繰越支払資金			4,912,277,259

事業活動収支計算書

令和　3 年　4 月　1 日 から
令和　4 年　3 月 31 日 まで

（単位：円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(1,270,000,000)	(1,298,685,000)	(△ 28,685,000)
		手数料	(22,330,000)	(23,191,500)	(△ 861,500)
		寄付金	(2,500,000)	(1,700,000)	(800,000)
		経常費等補助金	(80,000,000)	(108,438,500)	(△ 28,438,500)
		国庫補助金	30,000,000	36,639,400	△ 6,639,400
		地方公共団体補助金	50,000,000	71,799,100	△ 21,799,100
		付随事業収入	(300,000)	(901,950)	(△ 601,950)
		雑収入	(1,700,000)	(11,431,293)	(△ 9,731,293)
		教育活動収入計	1,376,830,000	1,444,348,243	△ 67,518,243
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	(781,800,000)	(727,281,016)	(54,518,984)
		教育研究経費	(437,500,000)	(400,003,032)	(37,496,968)
		管理経費	(154,890,000)	(125,844,063)	(29,045,937)
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	1,374,190,000	1,253,128,111	121,061,889
	教育活動収支差額		2,640,000	191,220,132	△ 188,580,132
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	(50,000,000)	(85,134,813)	(△ 35,134,813)
		その他の教育活動外収入	(0)	(81,272,431)	(△ 81,272,431)
		教育活動外収入計	50,000,000	166,407,244	△ 116,407,244
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金等利息	(6,500,000)	(5,540,416)	(959,584)
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	6,500,000	5,540,416	959,584
	教育活動外収支差額		43,500,000	160,866,828	△ 117,366,828
経常収支差額			46,140,000	352,086,960	△ 305,946,960
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(0)	(2,394,198)	(△ 2,394,198)
		特別収入計	0	2,394,198	△ 2,394,198
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	(0)	(80,632,000)	(△ 80,632,000)
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	0	80,632,000	△ 80,632,000
	特別収支差額		0	△ 78,237,802	78,237,802
〔予備費〕			(0) 0		0

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
基本金組入前当年度収支差額	46,140,000	273,849,158	△ 227,709,158
基本金組入額合計	0	△ 25,077,723	25,077,723
当年度収支差額	46,140,000	248,771,435	△ 202,631,435
前年度繰越収支差額	0	5,597,651,166	△ 5,597,651,166
翌年度繰越収支差額	46,140,000	5,846,422,601	△ 5,800,282,601

（参考）

事業活動収入計	1,426,830,000	1,613,149,685	△ 186,319,685
事業活動支出計	1,380,690,000	1,339,300,527	41,389,473

貸借対照表

令和　4 年　3 月 31 日

（単位：円）

資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定資産	[17,682,262,680]	[19,835,394,545]	[△ 2,153,131,865]
有形固定資産	(10,028,479,913)	10,158,488,597)	△ 130,008,684)
特定資産	(344,581,824)	(306,102,585)	(38,479,239)
その他の固定資産	(7,309,200,943)	(9,370,803,363)	(△ 2,061,602,420)
流動資産	[4,935,785,917]	[2,559,052,446]	[2,376,733,471]
現金預金	4,894,983,650	2,542,038,943	2,352,944,707
その他流動資産	40,802,267	17,013,503	23,788,764
資産の部合計	22,618,048,597	22,394,446,991	223,601,606

負債の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定負債	[1,316,917,745]	[1,365,046,103]	[△ 48,128,358]
流動負債	[497,087,359]	[499,206,553]	[△ 2,119,194]
負債の部合計	1,814,005,104	1,864,252,656	△ 50,247,552

純資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
基本金	[14,957,620,892]	[14,932,543,169]	[25,077,723]
第１号基本金	14,849,620,892	14,824,543,169	25,077,723
第４号基本金	108,000,000	108,000,000	0
基本金合計	14,957,620,892	14,932,543,169	25,077,723
繰越収支差額	[5,846,422,601]	[5,597,651,166]	[248,771,435]
翌年度繰越収支差額	5,846,422,601	5,597,651,166	248,771,435
純資産の部合計	20,804,043,493	20,530,194,335	273,849,158
負債及び純資産の部合計	22,618,048,597	22,394,446,991	223,601,606

財　産　目　録

令和4年3月31日現在

Ⅰ	資産総額	22,619,960,355円
	基本財産	10,796,272,225円
	運用財産	11,823,688,130円
Ⅱ	負債総額	1,814,005,104円
Ⅲ	正味財産	20,805,955,251円

区分		金額
Ⅰ　資産総額		22,619,960,355円
１．基本財産		10,796,272,225円
(1)土地	13,187.10㎡	8,218,996,673円
(2)建物	25,118.77㎡	2,275,767,099円
(3)構築物		30,985,207円
(3)図書		154,826,485円
(4)教育研究用機器備品		107,484,687円
(5)その他		8,212,074円
２．運用財産		11,823,688,130円
(1)現金預金		8,542,251,007円
(2)特定資産		344,581,824円
(3)有価証券		2,894,688,223円
(3)その他		42,167,076円
Ⅱ　負債総額		1,814,005,104円
１．固定負債		1,316,917,745円
(1)長期借入金		942,478,000円
(2)その他		374,439,745円
２．流動負債		497,087,359円
(1)短期借入金		65,004,000円
(2)その他		432,083,359円
Ⅲ　正味財産（資産総額－負債総額）		20,805,955,251円

学校法人 行岡保健衛生学園 令和3年度 事業報告書

1報告事項

(1) 設置する学校・学科

(2) ア大学

設置する学校	開設年度	学部・学科名	校舎・住所
大阪行岡医療大学	平成24年度	医療学部理学療法学科	茨木校舎 茨木市総持寺1-1-41

イ専門学校

設置する学校	開設年度	学科名	校舎・住所
行岡医学技術専門学校	平成11年度	看護第1学科	本庄校舎 大阪市北区本庄東1-13-11
	昭和51年度	歯科衛生科	
大阪行岡医療専門学校 長柄校	昭和63年度	放射線科	長柄校舎 大阪市北区長柄西1-7-53
	昭和63年度	臨床検査科	
	昭和51年度	鍼灸科	
	昭和51年度	整復科（令和2年度入学生より募集停止）	

(2)事業の概要

ア学生確保の状況（令和3年度入学生）

①大阪行岡医療大学

外部の学生への広報活動の一環として、「3密」の回避・マスク着用・ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染防止策を取った上、予約制によるオープンキャンパス及びオンラインによる学生への説明会を中心に、インターネットやその他広報媒体による広報活動など、学生確保に向けて積極的な取組を行ってきた。

その結果、令和3年4月入学生の状況は次のとおりである。

なお、入試はAO入試、推薦及び一般入試を実施した。

学部・学科名	定員	志願者数	合格者数	入学者数
医療学部理学療法学科	80名	121名	113名	79名

②専門学校（行岡医学技術専門学校、大阪行岡医療専門学校長柄校）

学生確保に向けた取組として、 各校においては大学同様に、 新型コロナウイルス感染防止の対策を講じた上、 随時学校見学及び予約制によるオープンキャンパス、オンラインによる学校説明を実施。更に、その他インターネットを含めて各種媒体への広告掲載等、積極的な広報活動を行った。

その結果、 令和3年4月入学生の状況は次のとおり。

なお、入試はAO入試、推薦及び一般入試を実施した。

学科名	定員	志願者数	合格者数	入学者数
看護第1学科	80名	484名	93名	82名
歯科衛生科	50名	63名	64名	51名
放射線科	50名	181名	55名	52名
臨床検査科	40名	64名	57名	40名
鍼灸科	50名	52名	52名	50名

イ 卒業生の国家試験合格率（令和3年度：令和4年3月　卒業生）①大阪行岡医療大学

学科名	国家試験名	合格率（本学園）	全国平均
医療学部 理学療法学科	理学療法士	79.5%	79.6%

②専門学校（行岡医学技術専門学校、大阪行岡医療専門学校長柄校）

学科名	国家試験名	合格率（本学園）	全国平均
看護第1学科	看護師	91.1%	91.3%
歯科衛生科	歯科衛生士	97.4%	95.6%
放射線科	診療放射線技師	71.9%	86.1%
臨床検査科	臨床検査技師	100%	75.4%
鍼灸科	あん摩マッサージ指圧師	93.2%	87.4%
	はり師	95.5%	74.2%
	きゅう師	90.9%	76.1%

ウ 就職先確保の状況(令和3年度:令和4年3月卒業生)

①大阪行岡医療大学

学科名	卒業者数	就職希望者数	就職者数(就職率)
医療学部理学療法学科	47名	43名	43名(100%)

②専門学校(行岡医学技術専門学校、大阪行岡医療専門学校長柄校)

学科名	卒業者数	就職希望者数	就職者数(就職率)
看護第1学科	71名	71名	71名(100%)
歯科衛生科	45名	40名	40名(100%)
放射線科	31名	22名	22名(100%)
臨床検査科	33名	20名	20名(100%)
鍼灸科	49名	46名	46名(100%)
整復科	10名	9名	9名(100%)

(3) 学校法人の報告

1. 新型コロナウイルス感染防止に関する取り組み

令和2年に発生した新型コロナウイルスが蔓延する中、本学においては新型コロナウイルスとの共存に向けた授業形態により学修を進めている。

特に、ZOOMを利用したオンライン授業の活用やオンデマンド方式による授業展開の構築はこれまでとは異なった授業のあり方を検討する機会ともなった。

しかしながら、本学は医療系の大学であり対面授業や臨地実習によって様々な知見を得ることができることから、大人数の講義は行動で行い、それ以外の授業は個別教室で行うなど、感染防止策を取りつつ、学生の学びに配慮した授業を実施しており、しばらくはこの態様にて教育を進めていきたい。

2. 国家試験の合格状況

国家試験合格率について、大学理学療法学科は全国平均79.6%に対して、合格率79.5%と同レベルの水準となっている。

専門学校では、歯科衛生科は全国平均の95.6%を超え、97.4%となっている。看護第一学科は全国平均91.3%とほぼ同レベルの91.1%となっている。臨床検査科は全国平均75.6%に対して100%の合格率を達成している。鍼灸科において、あん摩マッサージ指圧師は全国平均87.4%に対して93.2%、はり師は全国平均74.2%に対し、95.5%、きゅう師は全国平均76.1%に対して90.9%と全国平均を上回る結果となった。コロナ禍においても教職員一丸となって質の高い学生教

育に取り組んできた結果と思われる。

3. コロナウイルス感染防止を行った上でのオープンキャンパス

学外の学生を対象とした広報活動の一環である「オープンキャンパス」についても、コロナウイルス感染対策の観点から、予約制やリモートによる学科の説明を行った。

学校の設備を直接見て頂くことはできなかったが、リモートによる個別の説明によってかえって学生個々人に対しての説明ができたものと考えられる。

2.令和3年度 会議開催状況

(1) 大学「教授会」

大学における教授会では、教授の出席のもと、原則として毎月第3水曜日午前9時30分から定例的に実施した。

教授会においては、大学における学生教育に関して、出席状況、単位取得状況等についての審議と検討を行った。また、カリキュラムの構成等についての検討などを行い、学生教育の一層の環境整備を行った。更に、本年度は新型コロナウイルス感染防止を踏まえた授業の運営等について検討した。また、退学者への個別の対応、学生の生活指導、国家試験に向けての指導体制、留年生への対応、入学試験実施に関しての検討、実習施設への対応など、在学生への教育及び新入学生の確保等に関しての討議と審議を行った。

(2) 専門学校教務主任を中心とした「定例会議」

専門学校における定例会議では、各科の教務主任が出席のもと、原則として毎月第1木曜日午後5時より定例的に実施した。

定例会議では、新型コロナウイルス感染防止のため、授業実施の形態について、対面授業やリモートによるオンライン授業を取り入れた。また、専門学校学生の学習状況・出席状況等の報告、退学者への適切な対応、休みがちな学生の指導方法、学生確保に向けての広報活動

の検討、入学試験の 日程・試験科目など入試についての審議、オープンキャンパス等の検討、国家試験合格に対する学生への指導方法の検討の他、学生教育環境の整備や教員の資質向上についての審議・検討を行った。

また、学生の学修環境整備の一環として、図書館の終了時間を午後7時(本庄校舎)又は午後8時(長柄校舎)まで延長し、学生が授業終了後に集中して学修できる環境を整えた。

これによって多くの学生が授業終了後に図書館を利用しており、学修効果上、一定の成果があったと判断している。

3.　理事(役員)名簿

役員	常勤・非常勤の別	氏名
理事長	常勤	行岡正雄
副理事長	常勤	行岡久美子
理事	非常勤	池田昌弘
理事	非常勤	行岡陽子
理事	非常勤	速水泰彦
理事	非常勤	松下尚司
理事	非常勤	高橋佐智子
理事	非常勤	鹿島洋一

監　査　報　告　書

令和４年５月25日

学校法人　行岡保健衛生学園

理事会　御中

学校法人　行岡保健衛生学園

監事　　三木　秀夫

監事　　藤田　喜枝

私たちは、私立学校法第37条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人行岡保健衛生学園の寄附行為第　条の規定に従い、学校法人行岡保健衛生学園の令和３年度（令和３年４月１日から令和４年３月31日まで）の、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、私たちは学校法人の業務の執行は適切であり、計算書類は学校法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

○　理事・監事（役員）名簿

役員	常勤・非常勤の別	氏名
理事長	常勤	行岡正雄
副理事長	常勤	行岡久美子
理事	常勤	池田昌弘
理事	非常勤	行岡陽子
理事	非常勤	速水泰彦
理事	非常勤	松下尚司
理事	非常勤	高橋佐智子
理事	非常勤	鹿島洋一
監事	非常勤	三木秀夫
監事	非常勤	藤田喜枝